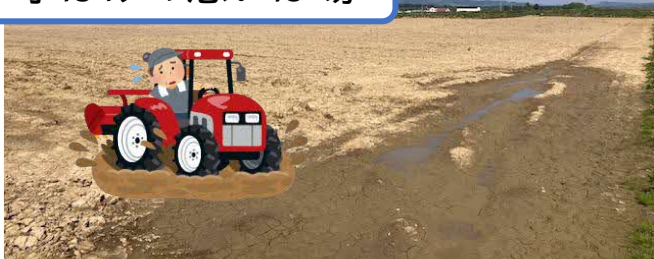


# 透排水性改善！ほ場のつくりかたマニュアル

なぜ、透排水性改善が必要なのか？

水はけの悪いほ場



- ▲大雨で作物が水没する
- ▲土が硬く、根張りが悪い
- ▲作物の生育が悪く、収量が落ちる
- ▲雨後すぐほ場に入れない
- ▲作物が病気になりやすい etc...

水はけの良いほ場



- 大雨でも滞水しない
- 土が軟らかく根張りが良い
- 作物の生育がよく収量が多い
- 雨後すぐほ場に入りやすい
- 作物が病気に強い etc...

ほ場の透排水性は  
**「効果的にパラソイラ・サブソイラ等の心土破碎」**  
を行うことで劇的に改善されます！

施工時のポイントは**3つ**！  
まずは**1筆**トライしてみてください！

## ポイント① 施工時は土壤水分に注目



## ポイント② 施工時の機械を入れる深さに注目

疎水材を削らない深さ！

しっかり入れて「耕盤層」を壊す！

心土破碎・サブソイラ等の施工深度は暗渠疎水材の直上まで！

※疎水材を削ると水はけが悪化するため

## ポイント③ 施工時の速度に注目

速すぎる **時速7km以上**

適正 **時速3km以下**

ゆっくり **時速1km以下**

ヒビは小さく埋まりやすい

ヒビが広く入る

ヒビが広く深く入る

## まとめ

施工時の土壤水分が適正で速度がゆっくりなほど施工効果は長持ちします

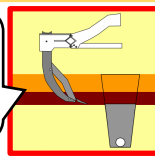
土の乾き具合を確認

土を握って開いても崩れるくらい



施工深度を確認

暗渠疎水材の上まで



人が歩いてついて行けるくらい

施工速度を確認



事例 施工時の土壤水分と施工効果～R7年剣淵の事例より～

硬

土壤水分が高いほ場

土壤水分が最適なほ場

土壤水分が最適な状態で施工すると、52日経っても効果が続いた！

軟 浅

— 施工前  
— 施工15日後

深 浅

— 施工前  
— 施工52日後

深